

A 一斉学習 (A 1)

主な学習活動

テキストマイニングを活用し、児童がこれまでの学習で、どのような思いをもっているのかまとめたキーワードを提示し、本時で取り上げる課題についての意識を高める。

1 本時のねらい

どうすれば水を大切にできるのか考える活動を通して、水を大切にしたいという思いをもって自分の考えを深めることができる。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

AIテキストマイニング

電子黒板

3 参考にしてほしいポイント

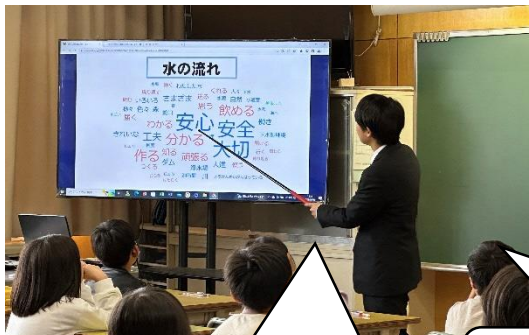
テキストマイニングを活用し、児童が前時やこれまでの学習で学んだ学習内容を視覚的に捉えやすくすることで、児童の単元内容への興味・関心を高めたり、課題意識をもたせたりする。

段階場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
導入	どうすれば水を大切にできるのかについて、前時までの自分たちの考えを振り返る。	テキストマイニングを活用し、児童がこれまでの学習で、どのような思いをもっているのかまとめたキーワードを提示し、本時で取り上げる課題についての意識を高めることができる。

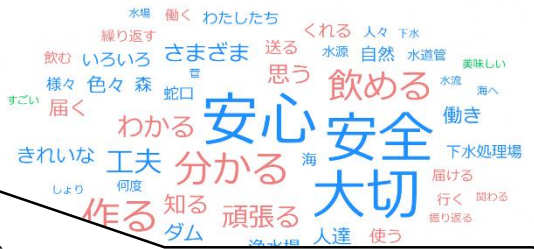
タブレット

+

電子黒板



水の流れ



「安心」、「安全」に水が届けられるんだよね。

今日は「大切」という言葉がキーワードになりそう。

4 活用効果

子どもたちは、ワードクラウドを活用することで、これまでの学習でどのようなことが重要であったか振り返ることができた。前時までの自分たちの考えを視覚的に捉えやすくすることで、児童の単元内容への興味・関心を高めたり、課題意識をもたせたりすることができた。ワードクラウドでは、児童らが大切だと思った言葉が画面に色別に大小に分けて表示される。表示された言葉の意味や使われ方を確認することで、子どもたちが本時で使う言葉についてより意識を高める手助けにもなった。

5 アドバイザーからのコメント

東日本大震災や能登地方の大震災によって、私たちは電気や水の大切さを思い知らされました。このテキストマイニングによって表示された「安心」「安全」「大切」の言葉の一つ一つに、誰もが自分の物語をもっています。それらを共有したすばらしい実践だと思います。(東京工業大学 赤堀侃司)

ワードクラウドは文章の概略を理解しやすくなるため、学習のまとめに際しては有効に働くことが期待されます。一方、これから学び始まるという場面でワードクラウド活用する場合は、少数意見が埋もれがちになるため、学習者の思いが反映されているか留意する必要があるようです。(福島大学 平中宏典)